

目的

- ① 県内市町村が一般廃棄物からプラスチック資源を回収する**回収モデル**を作成するため、モデル市町村においてプラスチック資源の回収方法等を検討する実証試験を実施する。
- ② 会員企業の皆様による一般廃棄物由来のプラスチック資源のリサイクルを促進するため、**会員企業の皆様がリサイクルを検討している品目**等で実証試験を実施し、データの提供等を行う。

概要

- ・実証試験は、第Ⅰ期と第Ⅱ期に分けて実施する。
- ・第Ⅰ期は、**桶川市**の協力のもと、**家庭から排出される**プラスチックごみ（以下「プラごみ」）の状況について、調査した。



桶川市における家庭ごみの出し方

・週2回回収する「燃やせるごみ」では、プラごみを受け付けていない。

・週1回回収する「プラスチック」では、容器包装プラごみのほか、プラスチックのみでできている製品プラごみも受け付けている。また、ペットボトルも同じ日に回収。

(例)おもちゃ、オケ、バケツ

・月1回回収する「その他ごみ」においても、プラスチックとプラスチック以外のものが混在(ゴムを含む)しているものを受け付けている。

(例)ゴムホース

・一辺の長さが50cmを超えるものなどは粗大ごみとして回収している。

(例)大きな衣装ケース

燃やせるごみ (Burnable Garbage)

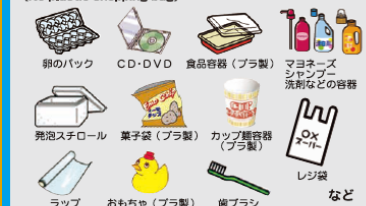
袋は、うす茶色の市指定袋 (15%, 30%, 45%) (Light Brown, Designated Garbage Bag)
※レジ袋は使用できません (No plastic shopping bag)



- 生ごみを出す際は、よく水切りをしてください。
- ごみ袋は、市の指定袋を使い、袋の口をきちんとしばって出してください。
- 木くず、枝(直径10cm以内)などは、長さ50cm、束の直径20cm以内にしたもの一度に3袋以内で出してください。落ち葉、雑草は土をよく落として一度に3袋以内で出してください。
- すだれは、50cm以内に、しばって出してください。そのままの場合は、「粗大ごみ」となります。
- 紙おむつやペットシートは、可能な限り汚物を取り除いて出してください。
- 食用油は、紙や布などに染み込ませるか凝固剤で固めて出してください。
- 汚れた衣類や布類を出す際は、ファスナーやボタンをはずしてください。
- 燃やすと危険なものや燃えないものは、絶対に混入しないでください。

プラスチック (Plastic Garbage)

袋は、無色透明または無色半透明のごみ袋(30%~70%) (Water-clear or colorless semitransparent garbage bag)
※レジ袋は使用できません (No plastic shopping bag)



- プラスチックごみは、人の手による選別を経てリサイクルされるので、食品トレイや食品・洗剤容器などは、中身を残さず軽く洗ってから出してください。
 - 汚れた目がプラスチック製のものでも、中に金属部品や電池が入っているものはプラスチックには出せません。特に充電式電池(リチウムイオン電池など)の混入は、リサイクル工場での発火事故の原因となりますので、絶対に混入させないでください。
 - ※風の強い日は、プラスチックごみが飛ばされやすいようご注意ください。この欄の表示マークのついているものなどです。
- ペットボトルはキャップとラベルを取り、軽くすすいで、できる限りボトルのみをまとめて出してください。

その他ごみ (Other Non-burnable Garbage)

袋は、無色透明または無色半透明のごみ袋(45%以下のもの) (Water-clear or colorless semitransparent garbage bag)
※レジ袋は使用できません (No plastic shopping bag)



- 「その他ごみ」は、主に陶磁器、革製品、ゴム類、スポンジなどです。金属とプラスチック等の複数の素材からできていて、分解できないものも該当します。
- ライターは、中身を使い切ってから出してください。(「使い捨てライター」については、「水銀使用廃製品等回収ボックス」をご利用いただくこともできます。)
- 割れた電球などは、鋭利な部分をテープ等で保護してから出してください。
- 蛍光管は「水銀使用廃製品等回収ボックス」をご利用ください。
- 壊れた袋に入れず、ひもでしばって出してください。

第 I 期事業の調査方法

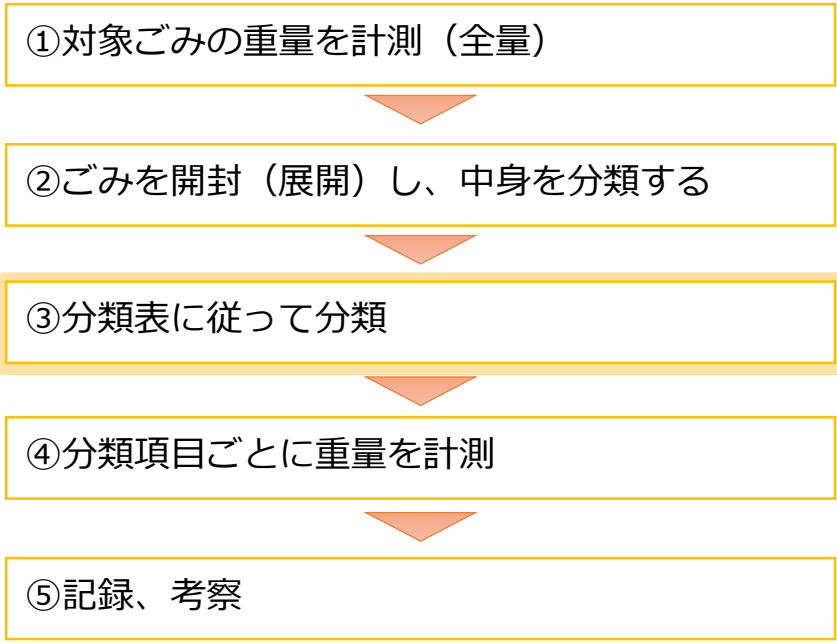
第 I 期事業の調査方法

- ・ステーション回収・・・桶川市内2地区(いずれも戸建て住宅が密集する都市部)の一部のごみ集積所に出されたごみに含まれるプラごみを展開し調査(燃やせるごみの日、プラスチックの日)
- ・拠点回収・・・市内同2地区内にプラスチックを回収する拠点を設置し、プラごみがどの程度集まるかを調査

	ステーション回収 (燃やせるごみの日)	ステーション回収 (プラスチックの日)	拠点回収
回収日時	7月15日(木)	7月20日(火)	8月12日(木) 9時～15時
世帯数	2地区計約1,000世帯の一部	2地区計約1,000世帯の一部、郊外地区の一部	2地区計約1,000世帯
対象ごみ	可燃ごみ	プラスチック類	プラスチック製品全般 (粗大ごみも含む)
回収場所 ・回収量	地区内のごみ集積所5か所3袋程度×2地区	地区内のごみ集積所5か所3袋程度×2地区、郊外1地区	地区内の集会所等×2地区
展開検査場所	桶川市環境センター		

ステーション回収：調査手順

調査手順



分類表

項目		(例)
プラスチック類 （プラスチックを含むもの全て）	①PETボトル (フィルム・キャップの有無問わず)	
	②調味料・化粧品・シャンプー等の詰め替え容器	ボトルタイプのもの
	③白色トレイ	生肉や魚などをのせる白い発砲トレイ
	④着色・透明トレイ	揚げ物や野菜などをのせる透明なトレイ
	⑤その他容器包装	レジ袋、個包装の外側大袋
製品 （プラスチックのみで構成された製品）	⑦カトラリー	マドラー、スプーン、フォーク
	⑧緩衝材	プチプチ
	⑨プラのみで構成された製品	ハンガー
	⑩プラ以外を含む製品	ボールペン、おもちゃ
その他 (プラを含まないもの)		

ステーション回収:調査結果

項目		燃やせるごみ (2地区合計)		プラごみ (2地区合計)		プラごみ (郊外)	
		重さ(kg)	割合(%)	重さ(kg)	割合(%)	重さ(kg)	割合(%)
プラスチック類合計		2.22	2.25	28.79	84.11	33.43	96.79
容器法 プラ	①PETボトル(フィルム・キャップの有無問わず)	-	-	5.02	14.67	4.88	14.13
	②調味料・化粧品・シャンプー等の詰め替え容器	0.24	0.24	0.57	1.67	0.85	2.46
	③白色トレイ	0.04	0.04	1.08	3.16	0.73	2.11
	④着色・透明トレイ	0.12	0.12	6.97	20.36	6.26	18.12
	⑤その他容器包装	1.78	1.81	10.88	31.78	10.88	31.50
製品 プラ	⑥カトラリー	0.01	0.01	0.11	0.32	0.04	0.12
	⑧緩衝材	-	-	0.34	0.99	1.00	2.90
	⑨プラのみで構成された製品	0.02	0.02	3.27	9.55	5.58	16.16
	⑩プラ以外を含む製品	-	-	0.55	1.61	3.21	9.29
その他合計(プラを含まないもの)		96.25	97.75	5.44	15.89	1.11	3.21
合計		98.47	100.00	34.23	100.00	34.54	100.00



…各回の上位3項目

ステーション回収:調査状況①

7/20 プラごみ全量



展開調査(燃やせるごみ)の様子



展開調査(プラスチック)の様子



展開計測の様子



ステーション回収:プラスチックの日のごみの調査状況②

気泡緩衝材



パウチ



洗剤容器等



歯ブラシ、ハンガー等



【燃やせるごみの日に回収したごみ】

- ・プラごみはほとんど含まれておらず、重さの割合は約2.3%であった。
(R2年度に県が他の6自治体で実施した先行調査では、約1.5%～約18%、平均8.9%)
- ・プラごみとしては食品容器、袋などが多かったが、ほとんどのものが生ごみ等と混じっており、**汚れている状態**であった。

【プラスチックごみの日に回収したごみ】

- ・プラごみの質量比で一番多かったのは食品などの容器包装であった。
- ・食品やソース等の内容物が他のプラごみにも広がっていることが多く、リサイクルにあたり**洗浄工程は必要**と思われる。
(今回ごみ袋を潰さずに回収したが、パッカー車での回収の場合さらに汚れる可能性)
- ・製品プラとして、歯ブラシ、ハンガーなどのほか気泡緩衝材等もあった。

拠点回収：調査手順

調査手順

- ①対象地区へチラシを全戸配布し、周知地区長等による住民への呼びかけ
- ②各地点へ搬入されたごみを回収（感染症対策のため屋外で実施）
- ③来た順に番号、持参者情報（性別、人数）、持参物を記録
- ④ごみの重量を計測
- ⑤集計、考察

デ ー タ シ ー ト

調査実施日： _____ 年 _____ 月 _____ 日 記録者： _____
 調査実施場所： _____

No.	持参者	代表者		人数	持参物		
		年齢	性別		種類	個数	重さ (kg)
(例)	個人・ファミリー(人)	70代		1	オケ		
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
合計				0	-	0	0.00

拠点回収:チラシ

表



影の国
埼玉県

埼玉県・桶川市から
のみなさまへお願い



環境部資源管理推進課
(環境センター)

「プラスチックごみ回収」 の実証事業にご協力ください！

近年プラスチックごみによる地球規模での環境汚染が懸念されている中、国内では6月に新たな法律(*)が成立するなど、今、「プラスチックごみ」が注目されています。

埼玉県でも、「プラスチック資源の循環的利用の推進」を重要課題に掲げ、官民一体となった「プラスチックの回収と新たなリサイクル」の仕組みづくりに向けた検討を始めています。

今回、桶川市の協力のもと、試験的な取り組みとして、家庭から出るプラスチックごみを下記日時に地域限定で回収いたしますので、ご協力をお願いいたします。

(※プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律)

■回収日時

令和3年 **8月12日(木)** 9:00~15:00

■回収場所(プラスチックごみの持ち込み先)

お住まいの地区	回収場所	回収場所の所在地
[ここに回収場所の住所が記載されています]		

■回収するプラスチックごみ

家庭から出るプラスチックごみを幅広く回収します。

(例)



シャンプー・洗剤などの容器、
繊維材(フチフチ)

詳しくは裏面をご確認ください

裏

○ 回収対象の「プラスチックごみ」の例

シャンプー、洗剤などの ボトル・詰め替え容器	繊維材 (フチフチ)	ハンガー	ざる	ボウル	バケツ
もりとり	ごみ箱	風呂いす	手おけ	洗濯機	洗濯かご
廃プラスチック	植木鉢・育苗用ポット	ゴムホース	おもちゃ	風呂のフタ、衣箱ケース などの粗大ごみ	

回収させていただいたプラスチックごみは、専門家の意見も伺いながら、リサイクルに向けた検討を行います。
一部は新たな製品に生まれ変わるかも知れません！

× 回収対象とならないもの

- ①プラスチックを含まないもの
- ②汚れが付いたもの
- ③食品を包んでいたプラスチック製の袋やトレイ、ペットボトル(フタやラベルも対象外)
- ④家電リサイクル法の対象品
(エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機)
- ⑤市の分別ガイドブックで処理困難物とされているもの

■注意事項



環境部資源管理推進課
環境センター

- 一度出されたものを、返却することはできません。
- 回収できないごみは、お持ち帰りいただく場合がございます。
- 粗大ごみに該当するようなプラスチック製のごみでも、処理費用はかかりません。
- 回収時にアンケートをお願いすることがあります。
- ご不明な点は、下記までお問い合わせください。

■お問い合わせ先

埼玉県環境部資源管理推進課

048-830-3106 (直通)

桶川市市民生活部リサイクル推進課(環境センター)

048-728-1902 (直通)



SAITAMA

環境部資源管理推進課
環境センター

拠点回収：調査結果

項目	2地区合計	2地区合計 (粗大ゴミ※以外を持参した人)	
		数	割合(%)
持参者組数	68組	20組	29.4
組数	1人	18	30.0
	2人	1	20.0
	3人以上	1	33.3
ごみ個数合計	520	97	18.7
ごみ重量合計(kg)	373.13	37.04	9.9

※データシートの「持参物」より算出(実際の計測はしていない)。

拠点回収：調査結果③

項目 (上位6項目及び合計)	2地区合計			
	個数	個数割合(%)	重量(kg)	重量割合(%)
植木鉢	134	25.77	30.27	8.11
ハンガー	41	7.88	1.97	0.53
食品ケース	17	3.27	0.78	0.21
プランター	16	3.08	13.23	3.55
ごみ箱	14	2.69	20.98	5.62
風呂フタ	13	2.50	26.72	7.16
合計	520	100.00	373.13	100.00

拠点回収：調査状況

A地区の回収の様子



計測状況



B地区の回収の様子



ごみ全体



拠点回収:考察

- ・持参は徒歩か自転車が大多数であった。8月の開催であったが、当日は曇りで住民が持参しやすい環境であったため、想定よりも多くプラごみが集まった。
- ・地区長等が対象地区内の一部の市民に呼び掛けていただいております、回収量の増加につながったと考えられる。
- ・粗大ごみとして通常処理費がかかるプラごみも今回無料で受け付けたため、衣装ケース、風呂のフタ等の粗大ごみに該当するものが多かった。
- ・一方で、プラスチックの日に集積所に出せるごみ(シャンプー容器、気泡緩衝材等)のみの持ち込みもあり、費用メリット等を考慮せず実証に参加した市民も一定数いた。
- ・プラを含まないもの、対象としていたプラごみ以外のものを持参した市民はいなかった。

【概要】

- ・第I期は家庭から排出されるプラスチックの現状について調査した。
- ・第II期は、県内市町村がプラスチック資源の回収を行う回収モデルを作成するため、第I期実証結果を踏まえて、**マテリアルリサイクルに資する品目に限定するとともに、市町村が導入しやすい回収方法に絞って実施する。**

【対象市町村】

- ・複数市町村での実施を検討

【実証方法】

・市町村における特定のプラごみの回収方法の例として、以下が挙げられる。

回収方法	ステーション回収型	拠点回収型(無人)、キャン ペーン回収型(有人)	学校回収型
概要	普段のごみ集積所(ごみステーション)へ住民が対象のプラごみだけを袋にまとめて出す	公民館・店舗・駅前広場等に回収箱を設置し、住民が対象のプラごみを持参する	学校等に、生徒等が対象のプラごみを持参する
回収量	多い	少ない	少ない
自治体の費用負担	大きい	小さい	小さい
課題等	<ul style="list-style-type: none"> 対象のプラごみを集める頻度が低い場合(月に1回など)、住民が自宅で長期間保管する必要がある、また出し忘れしやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 有人の場合、実施期間が限定される。 回収場所が少ないと住民がプラごみを出しにくい。 持参にあたってポイントが付与されるなどの特典がない場合、住民のメリットが得られにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な回収が必要である。 全世帯をカバーできない。 環境教育や意識啓発をしやすい。

【回収対象品目】

以下を満たす品目を想定。

- ① マテリアルリサイクルに資するもの
- ② 製品としての使用期間が短くすぐに廃棄物として排出されるもの、
または製品としての使用期間は長い、流通量が一定程度あるもの
- ③ 住民が持参しやすいもの

※回収対象品目から除くもの

汚れ(毒劇物を含む)が付着しているもの、電池で動くおもちゃ、
リチウムイオン蓄電池を使った電子たばこなど

【今後の予定】

- ・8～9月・・・回収対象品目の募集・選定
- ・9月・・・モデル市町村と調整、広報方法について検討
- ・10月以降・・・回収実証事業を実施